

令和2年度「世界津波の日」関連行事

1. 濱口梧陵翁生誕200年記念 京都大学防災研究所公開講座

和歌山を襲う大地震による様々な自然現象（強い揺れ、大津波、土砂崩れ）で災害が生じる過程を知り、被災する頻度と被災の度合いから許容できる限界を設定した上で、災害の事前・事中・事後において必要な対応を予め想定するなど、災害を事前に管理することの重要性について公開講座を開催

実施日時：令和2年10月5日（月）
実施場所：和歌山県民文化会館
実施団体：京都大学防災研究所、県
参加者：約150人



2. 濱口梧陵国際賞授賞式・記念講演会

「世界津波の日」に関連した国際賞として、平成28年度に創設され、本年度は5回目沿岸防災技術分野で顕著な功績を挙げた国内外の個人または団体を表彰

[受賞者]

- ・今村 文彦 教授
東北大学災害科学国際研究所所長／津波工学研究分野教授
- ・Costas Synolakis 博士
南カリフォルニア大学教授
- ・アチェ津波博物館(インドネシア)

[濱口梧陵国際賞授賞式及び記念講演会]

実施日：令和2年11月4日（水）
実施場所：海運クラブ（東京都）
主催：国際津波・沿岸防災技術啓発
事業組織委員会



3. 津浪祭

安政南海地震の津波により犠牲となった人々の霊を慰め、また、濱口梧陵の偉業を後世に語り継ぐため、犠牲者の50回忌となる1903年から開催され、100年以上実施

実施日時：令和2年11月5日（木）
実施場所：広川町
実施団体：広川町

* 今年度は、規模を縮小し開催。



令和2年度「世界津波の日」関連行事

4. 「世界津波の日」地震・津波避難訓練

「世界津波の日」の趣旨を伝え、津波防災の意識を高めるとともに、適切な避難行動の定着を図るため、県内全市町村において、地震・津波避難訓練を実施

実施日時：令和2年11月5日（木）

実施団体：国、県、市町村、保育所、幼稚園、小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、自治会・自主防災組織 他

参加者：約107,300人

訓練内容：気象庁が発する「緊急地震速報（訓練報）」や市町村、学校が発する訓練報を機に身の安全を守る以下の訓練を実施

- ①情報伝達訓
- ②シェイクアウト訓練
- ③避難カードによる避難場所の確認
- ④「世界津波の日」「津波防災の日」「稲むらの火」に関する学習 等



5. 呼び上げ地蔵避難訓練

安政の大地震のとき、大津波から逃げ場を失った人々の命を救ったとされる呼び上げ地蔵の伝承を活用した夜間避難訓練を実施

実施日 令和2年11月5日（木）

実施場所 海南市

主催 海南市上神田地区自治会

* 今年度は、規模を縮小し開催。



6. 近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練

大規模災害の発生に備え、広域的な防災体制の充実・強化を図るため、近畿2府7県の緊急消防援助隊や防災関係機関が合同訓練を実施

実施日 令和2年11月8日（日）

実施場所 徳島県徳島市

主催 総務省消防庁、関西広域連合

実施団体 近畿2府7県、関西広域連合、消防、警察、自衛隊 他

* 今年度は、規模を縮小し開催。



令和2年度「世界津波の日」関連行事

7. 海南市地震・津波防災訓練

南海トラフ地震に備え、国、県、市、企業、地域住民が参加する地震・津波防災訓練を実施し、地域防災力の向上と防災意識の高揚を図る。また、避難された住民が円滑かつ適切に命を守ることができるよう、新型コロナウイルス感染症等に対応した避難所運営訓練を実施。

実施日 令和2年11月15日（日）

実施場所 海南市

主催 海南市、和歌山県、内閣府

訓練内容 ①シェイクアウト訓練

②安否確認訓練

③地震・津波対応訓練

④新型コロナウイルス感染症等対応避難所運営訓練

⑤救護所設置訓練

